
操作マニュアル



目次

1. はじめに	1
2. 撮影の準備	1
2.1. メインメニュー構成	1
2.2. カメラ、写真、位置情報の利用許可	3
2.3. プライバシーとアプリの個別設定	5
3. 基本的な設定	8
3.1. 全体設定の概要	8
3.2. 黒板設定の概要	9
3.3. 画像黒板	11
3.4. 写真撮影	12
3.5. 撮影設定	13
3.6. インターバル撮影設定	15
3.7. 黒板に撮影情報を入力する	16
4. 外部ストレージ設定	17
4.1. Dropbox の設定方法	17
4.1.1. 設定前の準備	17
4.1.2. アップロード先の指定	19
4.1.3. ダウンロード元の指定	20
4.2. Box の設定方法	22
4.2.1. 設定前の準備	22
4.2.2. アップロード先の指定	23
4.2.3. ダウンロード元の指定	25
4.3. RICOH Drive の設定方法	27
4.3.1. 設定前の準備	27
4.3.2. アップロード先の指定	28

4.3.3.	ダウンロード元の指定	29
4.4.	iTunes USB 同期の設定方法	31
4.5.	Wi-Fi 転送の設定方法	33
5.	撮影リストを用いた撮影	35
5.1.	撮影リストとは	35
5.2.	撮影リストの作成	36
5.3.	撮影リストの転送	38
5.3.1.	オンラインストレージ(Dropbox / Box / RICOH Drive)への転送	38
5.3.2.	iTunes を用いた本体ストレージへの転送	39
5.3.3.	Wi-Fi を用いた本体ストレージへの転送	40
5.4.	撮影リストの読み込みと撮影	43
5.4.1.	リスト読込	43
5.4.2.	撮影リストの階層と表示	44
5.4.3.	撮影リストの操作	45
5.4.4.	実際の撮影について	46
6.	写真の取り込み・振り分け	47
6.1.	画像のアップロード	47
6.2.	画像のメール送信	50
6.3.	画像のカメラロール出力	53
6.4.	USB 接続による画像の転送	56
6.5.	Wi-Fi 接続による画像の転送	57
6.6.	撮影画像の振り分け	59
7.	改ざん検知情報について	61
7.1.	機能の有効化	61
7.2.	画像の改ざんチェック	62
8.	黒板の日付表示について	63
8.1.	日付表示	63

8.2.	日付非表示	63
9.	写真への簡易描画機能について	64
9.1.	プレビュー画面での編集	64
9.2.	画像閲覧画面での編集	66
10.	撮影画像一覧の絞り込み・並べ替え	68
10.1.	撮影画像一覧の絞り込み	68
10.2.	撮影画像一覧の並べ替え	70
11.	トラブルシューティング	71
11.1.	ファイル共有設定の初期化	71
11.1.1.	操作手順	71

1. はじめに

本書は工事写真撮影アプリ「現場 DE カメラ LITE」ならびに「現場 DE カメラ PRO」の使い方について、使用シーンごとに章立てをした操作マニュアルです。状況に応じて、アプリの活用にお役立てください。

2. 撮影の準備

2.1. メインメニュー構成

初めて利用する方にも目的が分かるようシンプルなメニュー構成にしています。

iPhone / iPod touch の表示



iPad の表示



No.	名称	説明
①	写真撮影	写真の撮影を行います。また、撮影解像度の変更や黒板の記述内容についても写真撮影時に設定を行います。
②	リスト読込撮影	<p>撮影リストを使用して写真整理のための振り分け情報を写真に埋め込みながら撮影します。</p> <p>※リスト読込撮影には弊社ソフトウェア製品「現場編集長 CALSMaster」または「PHOTOMASTER Plus」が必須です。</p> <p>現場 DE カメラ LITE / PRO 単体では撮影リストの作成を行えません。</p>
③	撮影画像一覧	撮影済み画像の一覧表示や、設定中のオンラインストレージへのアップロード等を行います。
④	黒板設定	使用する黒板のデザインを設定します。
⑤	全体設定	使用ストレージやアプリの設定を行います。

2.2. カメラ、写真、位置情報の利用許可

現場 DE カメラでは、「カメラへのアクセス」、「写真（カメラロール）へのアクセス」、「位置情報の利用」について、アプリが利用するための許可を求められます。

カメラへのアクセス



初めて「写真撮影」または「リスト読込撮影」を行うときにカメラへのアクセスを求められます。

写真へのアクセス

カメラロール出力



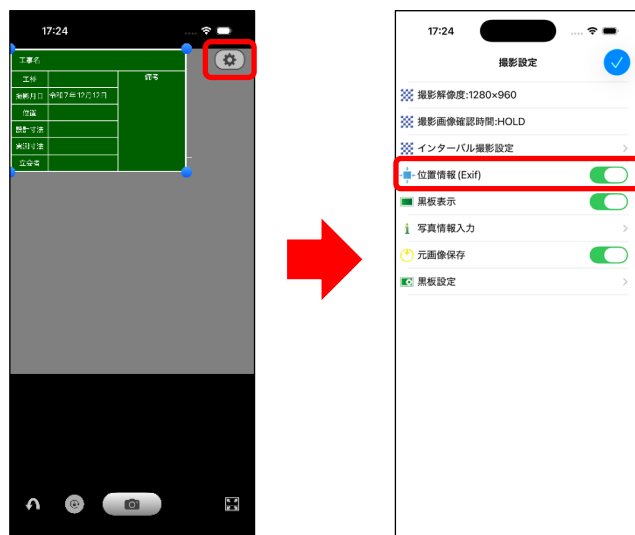
画像黒板 ※



初めて「カメラロール出力」または「画像黒板」の選択を行うときに写真へのアクセスを求められます。

※「画像黒板」は「現場 DE カメラ PRO」のみの機能です。

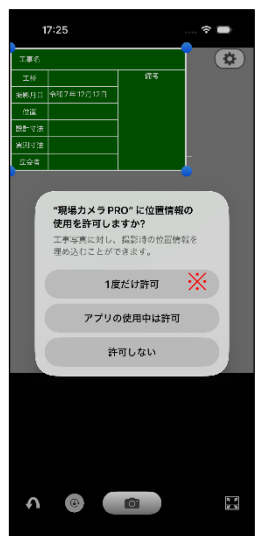
位置情報の利用



写真撮影画面右上の「歯車ボタン」をタップすると撮影設定が開きます。

「位置情報(Exif)」の設定は初期状態で「オフ」になっています。

「オン」に切り替えて「完了」を押します。



初回設定時に位置情報の利用可否を確認されます。

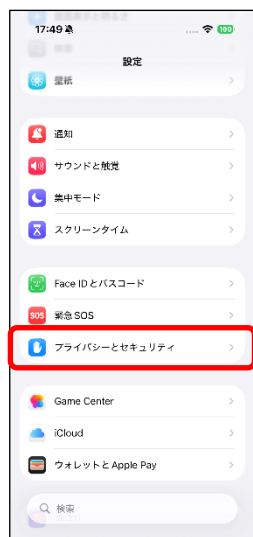
※「1度だけ許可」を選択した場合はアプリ再起動後に写真撮影画面を開くと位置情報の利用可否を確認するメッセージが再度表示されます。

2.3. プライバシーとアプリの個別設定

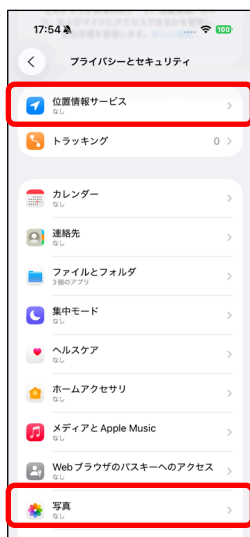
「カメラ」「写真」「位置情報」の一部または全部を「許可しない」に設定し、後から「許可」状態に再設定したい場合は、iOS の「設定」よりプライバシー設定を行ってください。

また、「現場 DE カメラ LITE」または「現場 DE カメラ PRO」の設定内容も併せてご確認ください。機能が無効になっていると正常に動作できない場合があります。

プライバシー設定

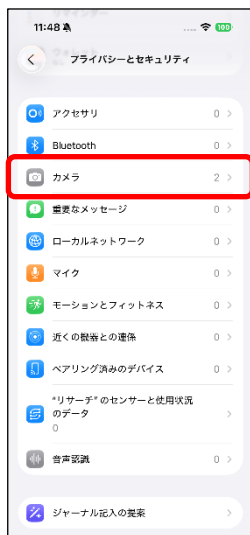


①



②

③



「設定」アプリを開き「プライバシーとセキュリティ」をタップします。

それぞれの機能をタップします。

プライバシー設定

① 位置情報サービス

サービスを有効にし、「このアプリの使用中」または「次回または共有時に確認」を選択します。



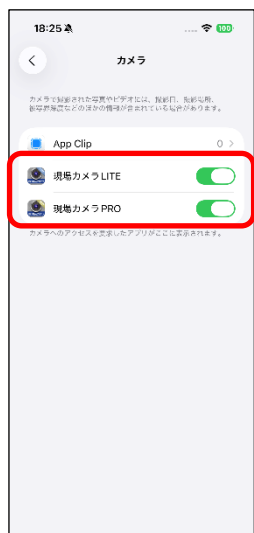
② 写真

「フルアクセス」を選択します。

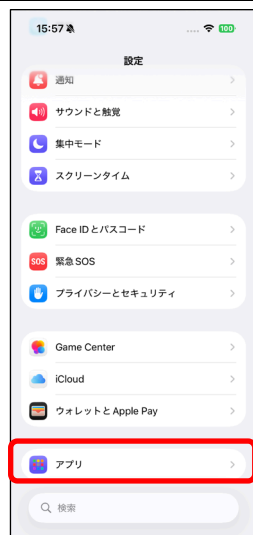


③ カメラ

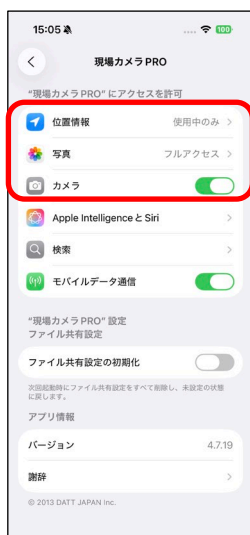
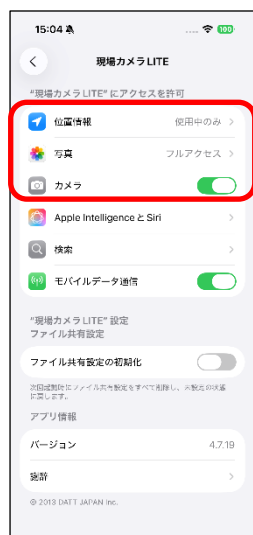
スイッチをオンにします。



アプリ側の設定



「設定」アプリの下の方にある「アプリ」を開き、「現場カメラ LITE」または「現場カメラ PRO」をタップします。



すべての機能が有効か確認します。

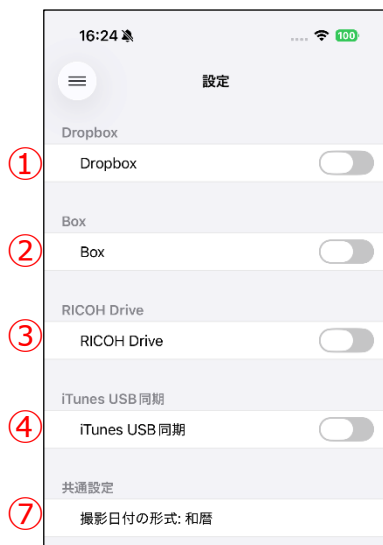
3. 基本的な設定

3.1. 全体設定の概要

全体設定では撮影画像の共有先となるストレージの設定などが行えます。

各ストレージの詳細な設定方法については次章をご参照ください。

現場 DE カメラ LITE



現場 DE カメラ PRO



No.	名称	説明
①	Dropbox	Dropbox にリンクして撮影画像のアップロード先や撮影リストのダウンロード元のフォルダを指定します。
②	Box	Box にリンクして撮影画像のアップロード先や撮影リストのダウンロード元のフォルダを指定します。
③	RICOH Drive	RICOH Drive にリンクして撮影画像のアップロード先や撮影リストのダウンロード元のフォルダを指定します。
④	iTunes USB 同期	PC と USB 接続し、iTunes 経由でデータのやり取りを行います。
⑤	Wi-Fi 転送	PC と Wi-Fi 接続し、撮影リストや撮影画像のやり取りを行います。 ※PRO 版のみの機能です。

No.	名称	説明
⑥	画像改ざん検知情報付与	撮影画像に加工等の改ざんが加えられていないことを示す情報を撮影データに記録します。 → 7. 改ざん検知情報について ※PRO 版のみの機能です。
⑦	撮影日付の形式	黒板に表示する撮影日時の形式を選択します。
⑧	黒板の日付表示	黒板に撮影日付を表示します。 → 8. 黒板の日付表示について ※PRO 版のみの機能です。

3.2. 黒板設定の概要

黒板設定では黒板のデザインを選択します。

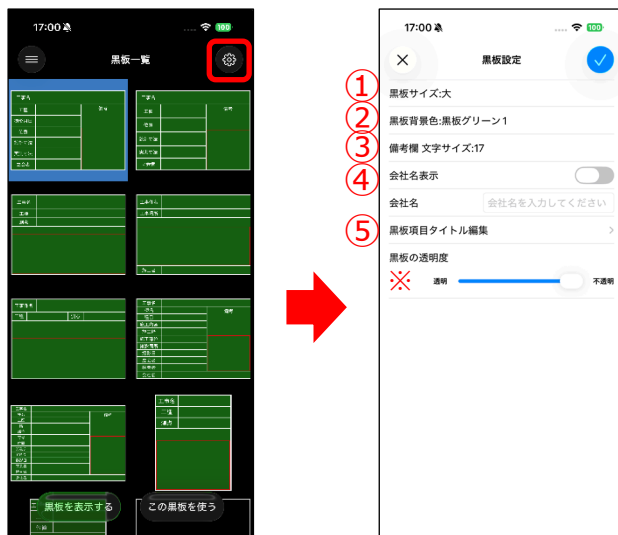
色や文字サイズは下図に示す設定ボタンより設定します。

なお、黒板内に記載される詳細な文字情報はここでは入力できません。写真撮影時の「撮影設定」から入力するか、「リスト読込撮影」を行ってください。


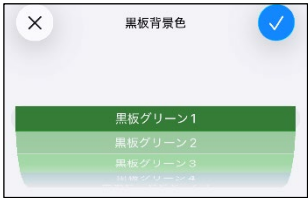
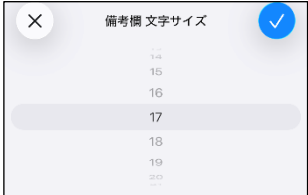

現場 DE カメラ LITE



現場 DE カメラ PRO



※「黒板の透明度」設定は PRO 版のみの機能です。

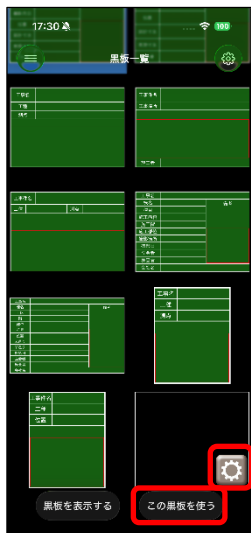
No.	名称	説明
①	黒板サイズ 	黒板の初期サイズを設定します。
②	黒板背景色 	グリーン系を中心に用意された黒板の色から選択します。
③	備考欄文字サイズ 	備考欄に表示する文字サイズを決めます。 ほかの項目内容は表記される文字数で自動スケーリングされます。
④	会社名表示	「会社名表示」をオンにし、「会社名」をあらかじめ入力しておく、社名表示に対応する黒板に自動表示されます。
⑤	黒板項目タイトル編集 	黒板内の「工種」を「細別」に変えるなど、黒板の各項目のタイトルを編集できます。

3.3. 画像黒板

カメラロール内の画像を黒板として利用することが可能です。

Excel や PowerPoint で作成した黒板や、スキャナアプリなどを利用し撮影した黒板を画像としてカメラロールに保存しておくことで、黒板として選択できます。

※本機能は「現場 DE カメラ PRO」のみの機能です。



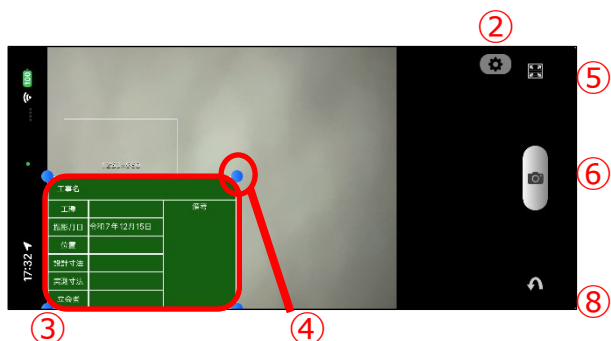
黒板設定の最下部にある自由設定アイコンをタップし、「カメラロール」から利用したい画像を選択します。

画像選択後、「この黒板を使う」をタップすると黒板として設定されます。

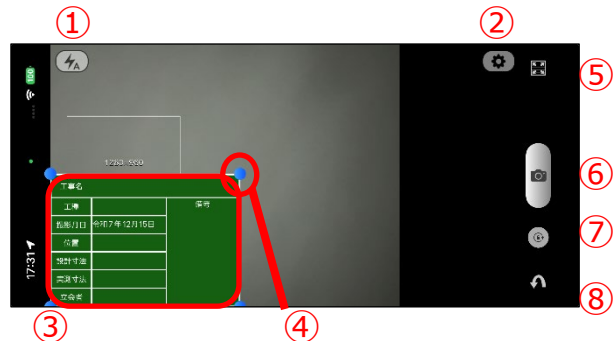
3.4. 写真撮影

写真撮影画面の構成と機能について説明します。

現場 DE カメラ LITE



現場 DE カメラ PRO





No.	名称	説明
①	発光制御	フラッシュの動作を「オフ」「オート」「強制」の3種類から選べます。 ※端末にフラッシュ機能がない場合、ボタンは表示されません。 ※PRO版のみの機能です。
②	撮影設定	撮影設定メニューに入ります。黒板情報もここで設定します。
③	電子小黒板	設定した文字が記載された電子小黒板です。
④	ハンドル	ドラッグして黒板のサイズを拡大・縮小できます。
⑤	黒板ボタン	現在設定中の黒板を拡大表示して確認できます。 ※PRO版のみの機能です。
⑥	シャッター	写真の撮影を行います。
⑦	回転ロックボタン	画面の向きを固定・解除します。 ※PRO版のみの機能です。
⑧	バックボタン	撮影を終了しメインメニューに戻ります。

3.5. 撮影設定

撮影設定画面のメニューでは、写真撮影に関するさまざまな設定を行います。



No.	名称	説明
①	撮影解像度 	撮影する画像のサイズを 640×480～2,304×1,728 ピクセル（0.3M～4M ピクセル）の範囲で決定します。
②	撮影画像確認時間 	撮影直後のプレビュー確認時間を設定します。OFF で無効、HOLD は手動でプレビューを終了させます。 ※PRO 版のみの機能です。
③	インターバル撮影設定	一定時間ごとに撮影する「インターバル撮影」の動作設定を行います。 → 3.6. インターバル撮影設定 ※PRO 版のみの機能です。

No.	名称	説明
④	位置情報(Exif)	Exif への位置情報の記録を有効/無効にします。 これを無効にしても位置情報以外の Exif データは記録されます。
⑤	黒板表示	撮影時の黒板表示を有効/無効にします。 黒板を無効にし、再度有効にしても設定前に入力済みの黒板項目の情報は保持されます。 無効時は黒板付き画像が保存されなくなります。
⑥	写真情報入力	黒板に記載する文字情報を入力します。 → 3.7. 黒板に撮影情報を入力する
⑦	元画像保存	黒板付き画像の撮影時に、黒板を含まない撮影写真も保存します。 無効にした場合は黒板付き画像のみ保存されます。
⑧	黒板設定	黒板設定画面を開いて使用する黒板のデザインを設定します。 → 3.2. 黒板設定の概要

3.6. インターバル撮影設定

インターバル撮影をオンにすると、以下の設定内容でインターバル撮影を行います。



No.	名称	説明	
①	撮影間隔	設定された時間間隔で 1 枚ずつ写真の自動撮影を行います。	
		5 秒間を最小単位とし、5 秒～24 時間の範囲で設定可能です。	
②	撮影終了方法	24 時間を超える値を指定した場合は 24 時間に数値が丸め込まれます。	
		インターバル撮影の終了方法を設定します。	
		ユーザ	手動で終了させます。
		撮影時間(秒)	指定時間経過後に終了します。
		撮影枚数	指定枚数撮影後に終了します。

3.7. 黒板に撮影情報を入力する

写真情報入力メニューでは黒板内に表示する各項目の内容を文字入力できます。

黒板内の表示項目は黒板設定で選択した黒板の種類によって変わります。



各項目をタップすると入力画面が表示されます。入力した内容は履歴として残り、入力時に再利用が可能です。

「略図」への図面ファイル割り当ては現場 DE カメラ PRO 単体では行えません。「略図」との図面リンクを行うためには「リスト読込撮影」で図面データを含む撮影リストを読み込ませる必要があります。

4. 外部ストレージ設定

撮影した画像を他のコンピュータで利用したり、撮影リストを「現場 DE カメラ LITE / 現場 DE カメラ PRO」で利用したりするために、オンラインストレージや iTunes アプリのデータ転送で連携する各種設定を行います。

※ オンラインストレージ（Dropbox / Box / RICOH Drive）を利用する場合はインターネット接続環境及び各ストレージのアカウントが必要です。

4.1. Dropbox の設定方法

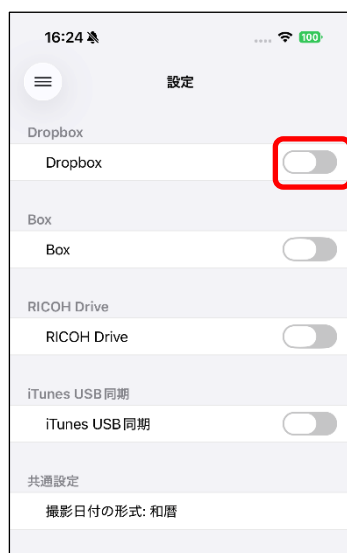
Dropbox と連携して撮影画像のアップロードや撮影リストのダウンロードを行うための設定です。

4.1.1. 設定前の準備

この設定を行うには Dropbox のアカウントが必要です。お持ちでない方は Dropbox アカウントを取得し、アップロードやダウンロードを行うための任意のフォルダを最低 1 つ作成してください。

また、ログインは「現場 DE カメラ LITE / 現場 DE カメラ PRO」から行えるので Dropbox アプリがインストールされている必要はありません。

※以下の画像は「現場 DE カメラ LITE」のものですが、「現場 DE カメラ PRO」でも操作は同様です。



「トップメニュー」 → 「全体設定」に入り、Dropbox のスイッチを ON にします。



Dropbox との連携を行います。
アカウント情報を入力してログインします。



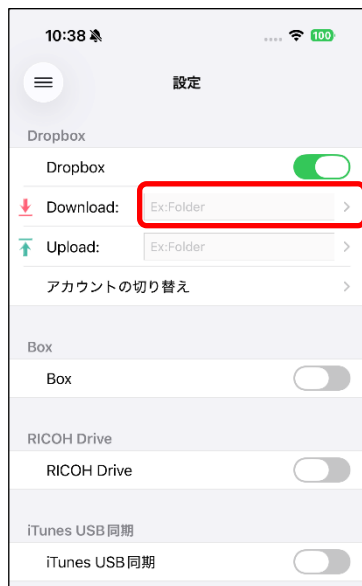
「許可」をタップします。

4.1.2. アップロード先の指定

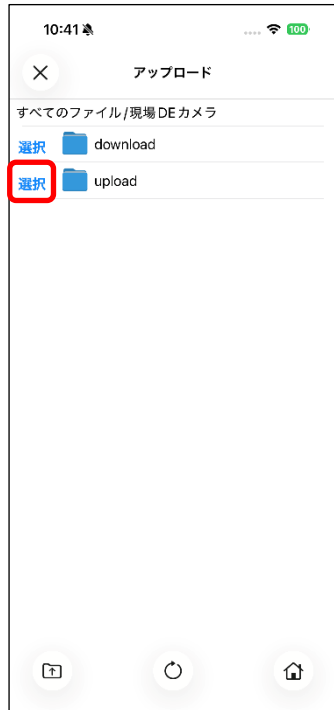
撮影画像のアップロード先を指定します。

「撮影画像一覧」からアップロードされた画像はここで指定したフォルダに転送されます。

※以下の画像は「現場 DE カメラ LITE」のものですが、「現場 DE カメラ PRO」でも操作は同様です。

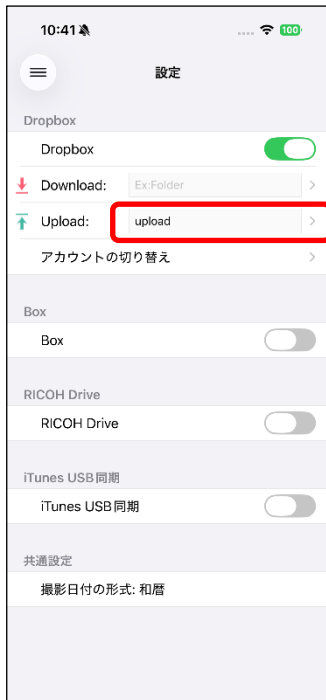


「Upload」をタップします。



フォルダ名をタップするとサブフォルダに移動します。

左側の「選択」をタップしてアップロード先のフォルダを指定します。



選択したフォルダ名が表示されていれば設定は完了です。

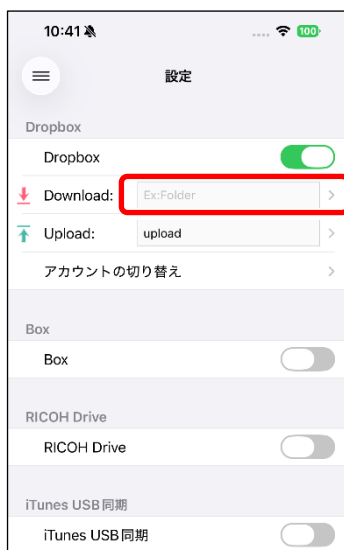
※最上位の階層はアップロード先に指定できません。本アプリでフォルダ作成はできませんので、あらかじめフォルダを作成しておいてください。

4.1.3. ダウンロード元の指定

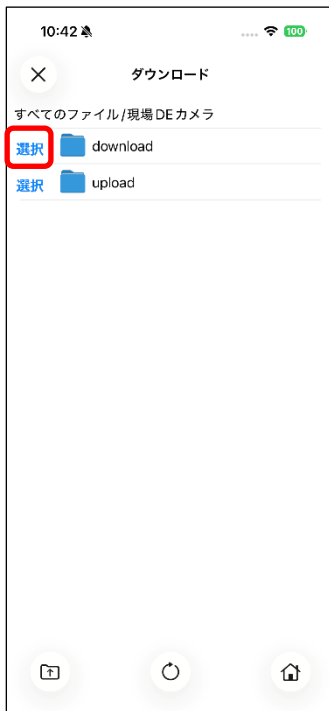
撮影リストのダウンロード元を指定します。（撮影リストを使用しない場合は設定不要です）

「リスト読込撮影」を行うと、ここで指定したフォルダに含まれる撮影リストを読み取ることができます。

※以下の画像は「現場 DE カメラ LITE」のものですが、「現場 DE カメラ PRO」でも操作は同様です。

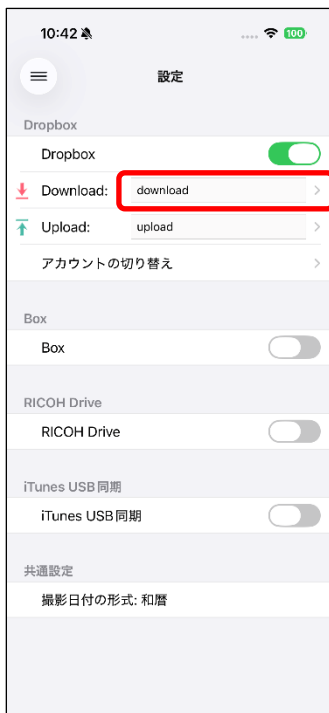


「Download」をタップします。



フォルダ名をタップするとサブフォルダに移動します。

左側の「選択」をタップしてダウンロード元のフォルダを指定します。



選択したフォルダ名が表示されていれば設定は完了です。

※最上位の階層はダウンロード元に指定できません。本アプリでフォルダ作成はできませんので、あらかじめフォルダを作成しておいてください。

4.2. Box の設定方法

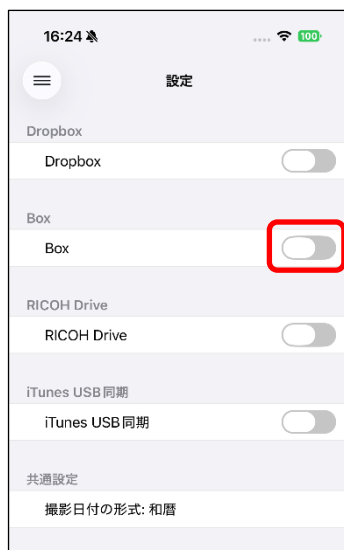
Box と連携して撮影画像のアップロードや撮影リストのダウンロードを行うための設定です。

4.2.1. 設定前の準備

この設定を行うには Box のアカウントが必要です。お持ちでない方は Box アカウントを取得し、アップロードやダウンロードを行うための任意のフォルダを最低 1 つ作成してください。

また、ログインは「現場 DE カメラ LITE / 現場 DE カメラ PRO」から行えるので Box アプリがインストールされている必要はありません。

※以下の画像は「現場 DE カメラ LITE」のものですが、「現場 DE カメラ PRO」でも操作は同様です。



「トップメニュー」 → 「全体設定」に入り、Box のスイッチを ON にします。



Box との連携を行います。アカウント情報を入力して「承認」をタップします。



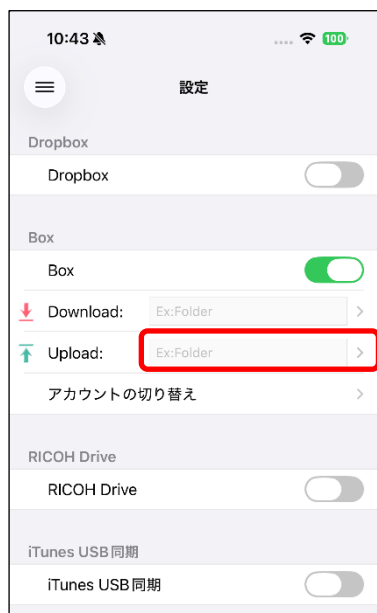
Box のログイン承認後、「Box へのアクセスを許可」をタップします。

4.2.2. アップロード先の指定

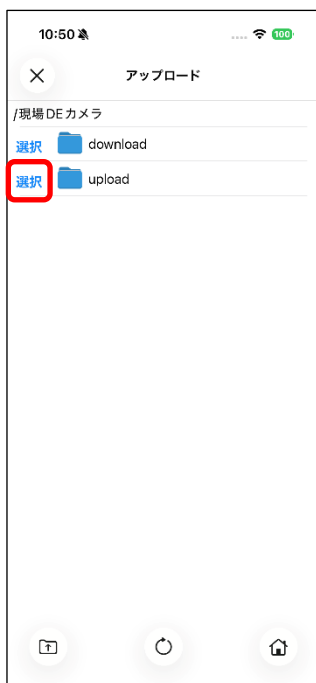
撮影画像のアップロード先を指定します。

「撮影画像一覧」からアップロードされた画像はここで指定したフォルダに転送されます。

※以下の画像は「現場 DE カメラ LITE」のものですが、「現場 DE カメラ PRO」でも操作は同様です。

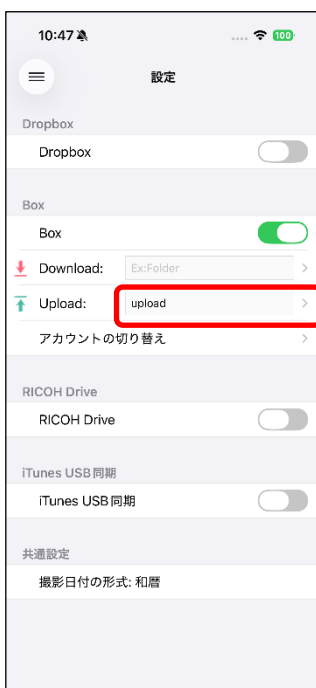


「Upload」をタップします。



フォルダ名をタップするとサブフォルダに移動します。

左側の「選択」をタップしてアップロード先のフォルダを指定します。



選択したフォルダ名が表示されていれば設定は完了です。

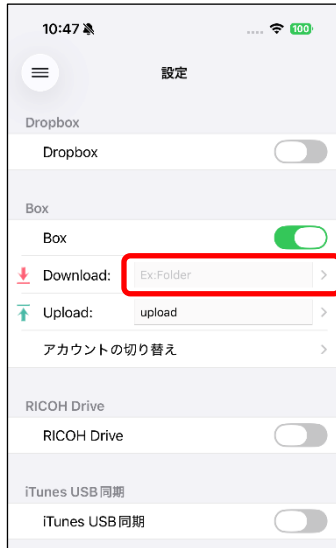
※最上位の階層はアップロード先に指定できません。本アプリでフォルダ作成はできませんので、あらかじめフォルダを作成しておいてください。

4.2.3. ダウンロード元の指定

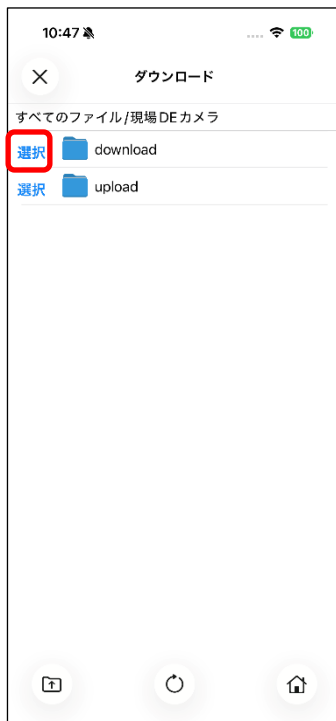
撮影リストのダウンロード元を指定します。（撮影リストを使用しない場合は設定不要です）

「リスト読込撮影」を行うと、ここで指定したフォルダに含まれる撮影リストを読み取ることができます。

※以下の画像は「現場 DE カメラ LITE」のものですが、「現場 DE カメラ PRO」でも操作は同様です。

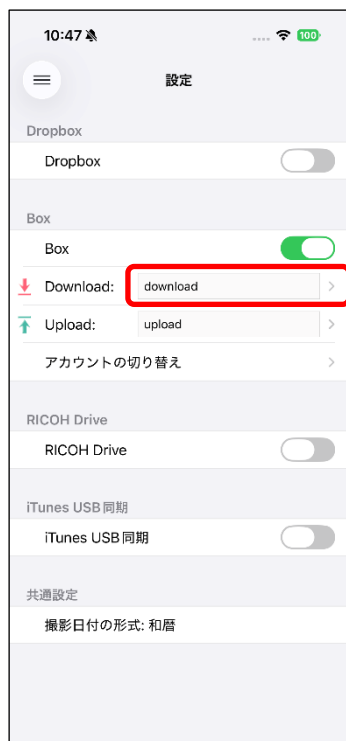


「Download」をタップします。



フォルダ名をタップするとサブフォルダに移動します。

左側の「選択」をタップしてダウンロード元のフォルダを指定します。



選択したフォルダ名が表示されていれば設定は完了です。

※最上位の階層はダウンロード元に指定できません。本アプリでフォルダ作成はできませんので、あらかじめフォルダを作成しておいてください。

4.3. RICOH Drive の設定方法

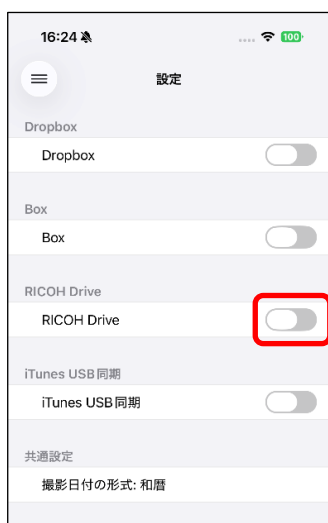
RICOH Drive と連携して撮影画像のアップロードや撮影リストのダウンロードを行うための設定です。

4.3.1. 設定前の準備

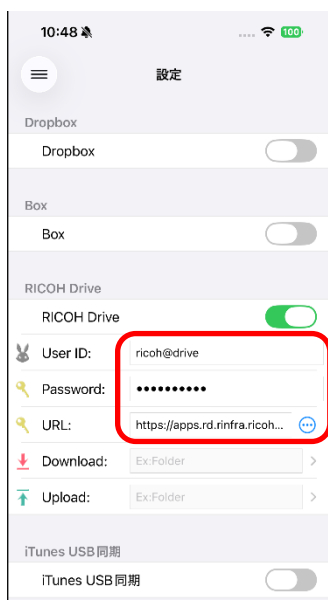
この設定を行うには RICOH Drive のアカウントが必要です。お持ちでない方は RICOH Drive アカウントを取得し、アップロードやダウンロードを行うための任意のフォルダを最低 1 つ作成してください。

また、ログインは「現場 DE カメラ LITE / 現場 DE カメラ PRO」から行えるので RICOH Drive アプリがインストールされている必要はありません。

※以下の画像は「現場 DE カメラ LITE」のものですが、「現場 DE カメラ PRO」でも操作は同様です。



「トップメニュー」 → 「全体設定」に入り、RICOH Drive のスイッチを ON にします。



RICOH Drive の「User ID」「Password」「URL」を入力します。

※ URL は「<https://apps.rd.rinfra.ricoh.com>」をご指定ください。

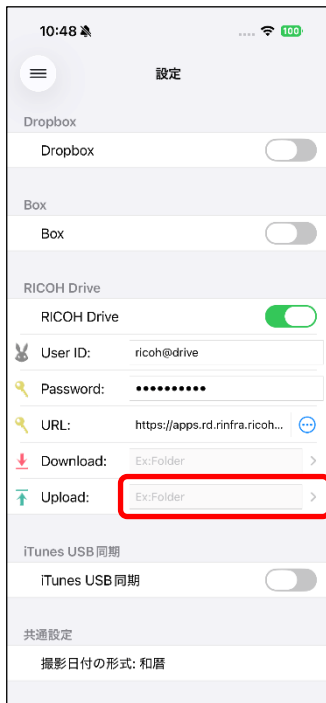
URL 変換メニューボタン (⋯) をタップすることで、RICOH Drive の URL を自動入力することもできます。

4.3.2. アップロード先の指定

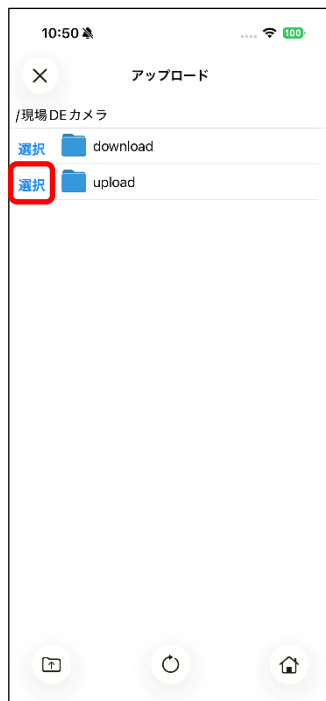
撮影画像のアップロード先を指定します。

「撮影画像一覧」からアップロードされた画像はここで指定したフォルダに転送されます。

※以下の画像は「現場 DE カメラ LITE」のものですが、「現場 DE カメラ PRO」でも操作は同様です。

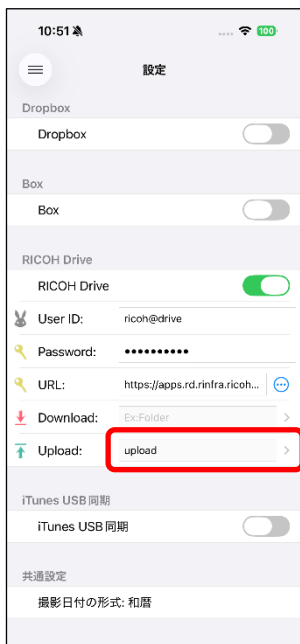


「Upload」をタップします。



フォルダ名をタップするとサブフォルダに移動します。

左側の「選択」をタップしてアップロード先のフォルダを指定します。



選択したフォルダ名が表示されていれば設定は完了です。

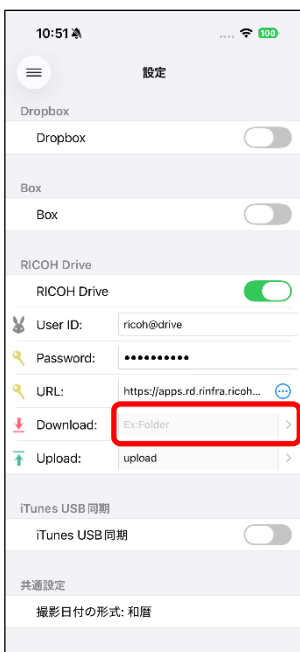
※最上位の階層はアップロード先に指定できません。本アプリでフォルダ作成はできませんので、あらかじめフォルダを作成しておいてください。

4.3.3. ダウンロード元の指定

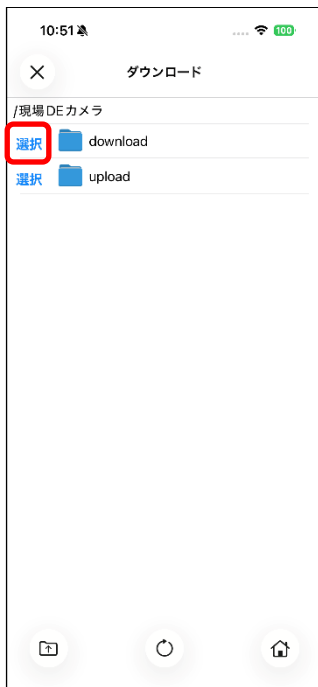
撮影リストのダウンロード元を指定します。（撮影リストを使用しない場合は設定不要です）

「リスト読込撮影」を行うと、ここで指定したフォルダに含まれる撮影リストを読み取ることができます。

※以下の画像は「現場 DE カメラ LITE」のものですが、「現場 DE カメラ PRO」でも操作は同様です。

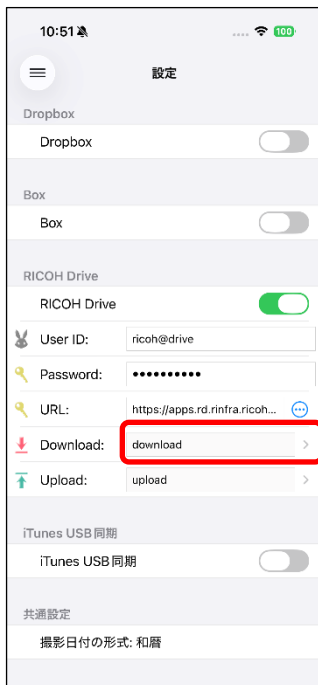


「Download」をタップします。



フォルダ名をタップするとサブフォルダに移動します。

左側の「選択」をタップしてダウンロード元のフォルダを指定します。



選択したフォルダ名が表示されていれば設定は完了です。

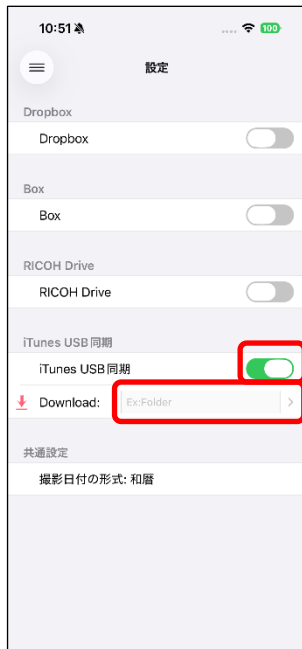
※最上位の階層はダウンロード元に指定できません。本アプリでフォルダ作成はできませんので、あらかじめフォルダを作成しておいてください。

4.4. iTunes USB 同期の設定方法

この設定はオンラインストレージとは異なり、PC と USB 接続して iTunes 経由で撮影リストを転送するとき
に使用します。

撮影リストを本体へ転送していないと設定できないため、手順については「[5.4 撮影リストの読み込みと撮
影](#)」をご覧ください。

※以下の画像は「現場 DE カメラ LITE」のものですが、「現場 DE カメラ PRO」でも操作は同様です。

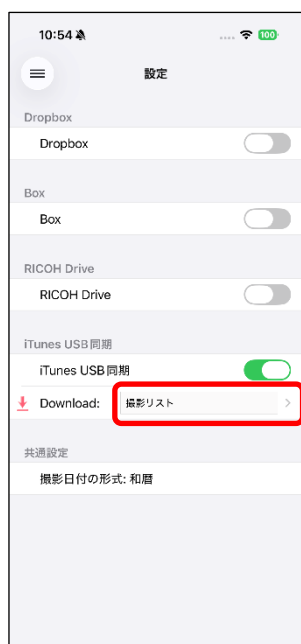


「全体設定」に進み iTunes USB 同期のスイッチを ON にし、
「Download」をタップします。



フォルダ名をタップするとサブフォルダに移動します。

左側の「選択」をタップしてダウンロード元のフォルダを指定します。



選択したフォルダ名が表示されていれば設定は完了です。

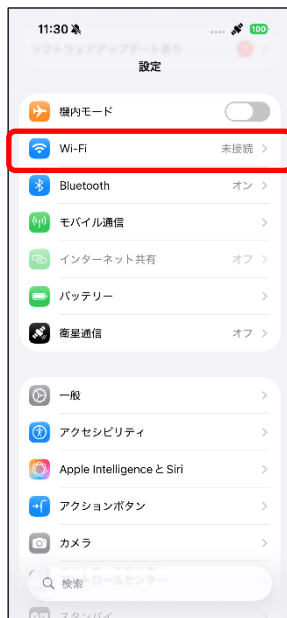
※ 撮影画像は本体ストレージに保存されるため「Upload」フォルダの指定はありません。

4.5. Wi-Fi 転送の設定方法

この設定はオンラインストレージとは異なり、PC と iOS 端末を Wi-Fi 接続して撮影リストや撮影画像を転送するときに使用します。

※モバイルデータ通信では本機能は利用できません。

※本機能は「現場 DE カメラ PRO」のみの機能です。



iOS 端末の「設定」に入り、「Wi-Fi」をタップします。

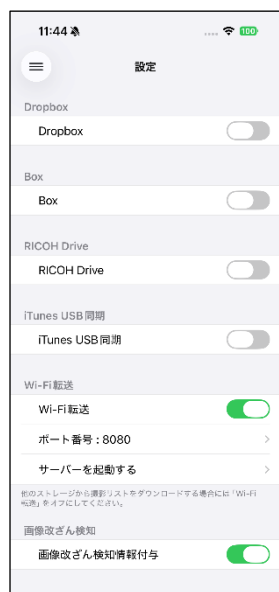


Wi-Fi のスイッチを「ON」にし、接続するネットワークを選択して iOS 側の設定は完了です。



次に現場 DE カメラ PRO を起動します。

「全体設定」に進み、Wi-Fi 転送のスイッチを ON にします。



ポート番号には初期値として「8080」が設定されています。

必要に応じて変更してください。

※通常は「8080」で問題ありません。

他のストレージと異なり、サーバーを起動している間だけ、データを Wi-Fi 転送することが可能です。

詳しくは、「[5. 撮影リストを用いた撮影](#)」及び「[6.5 Wi-Fi 接続による画像の転送](#)」をご覧ください。

5. 撮影リストを用いた撮影

5.1. 撮影リストとは

 <p>「現場編集長 CALSMaster」は土木、電気通信、機械設備、営繕工事などの電子納品に特化した成果物作成支援ソフトウェアです。</p> <p>工事写真の整理、各種帳票作成、工事完成図書の作成ができ、大規模な工事にも対応可能です。</p> <p>https://www.calsmaster.com/</p>	 <p>「PHOTOMASTER Plus」は建築工事写真の整理とアルバム帳票作成を円滑に行うための業務効率化ソフトウェアです。</p> <p>配筋断面図の一括切り出しができ、撮影写真への紐付けが容易に行えます。</p> <p>https://www.genba21.com/photomasterplus/</p>
---	---

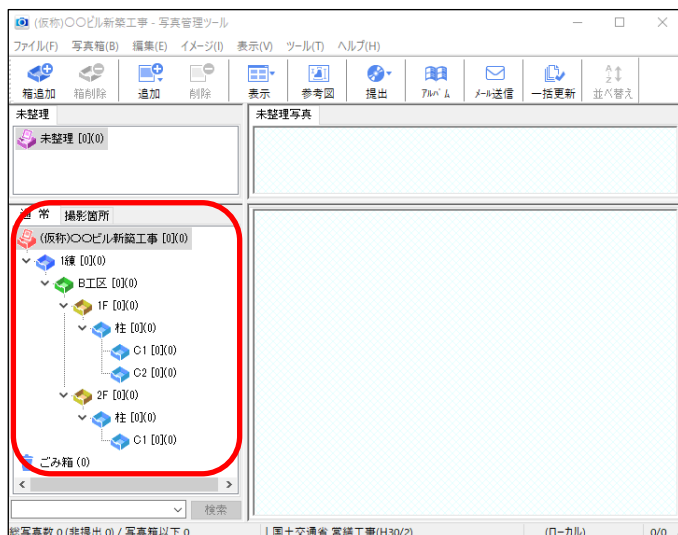
撮影リストとは、Windows PC 向け弊社ソフトウェア製品の「現場編集長 CALSMaster」ならびに「PHOTOMASTER Plus」において作成可能な「撮影箇所ごとの写真情報を含めたリストデータ」です。CSV形式のデータを使用し、写真撮影時に撮影箇所を確認しながら撮影を進められるので、撮り忘れの防止に役立ちます。

撮影された写真データには撮影箇所や部位、符号などの情報が画像とともに記録されます。

「現場編集長 CALSMaster」や「PHOTOMASTER Plus」に写真を取り込む際に、記録されたデータを基に工区や工種、撮影箇所などの分けごとに自動振り分けを行えるため、撮影後に手作業で写真の仕分けを行う手間が掛かりません。

※ 上記製品のいずれもお持ちでない場合は撮影リストをご利用になれません。

5.2. 撮影リストの作成

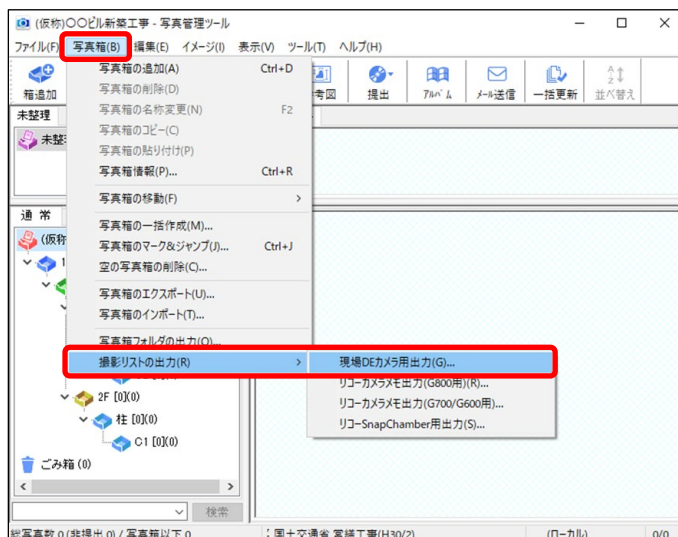


「現場編集長 CALSMaster」または「PHOTOMASTER Plus」を起動し、写真管理ツールで写真箱ツリーを作成します。

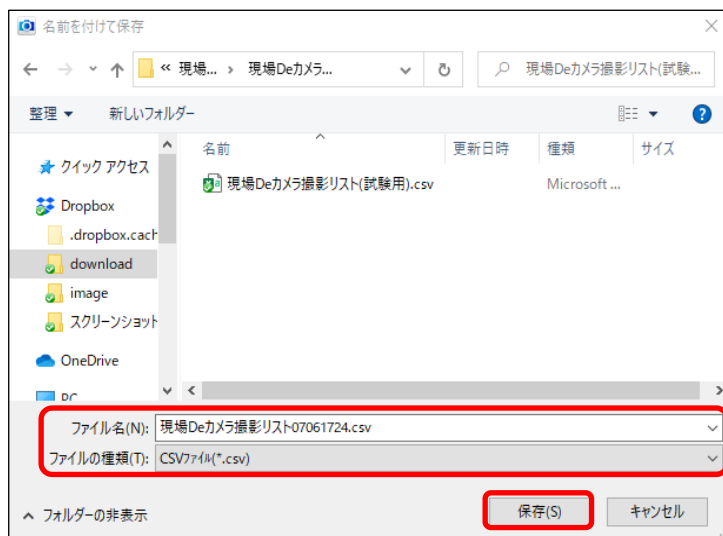
配筋断面図をリンクさせたい場合はあらかじめ配筋撮影ツールで断面図の切り出しと符号登録を行ってください。

※詳細な操作方法についてはそれぞれの製品に同梱されたマニュアルをご参照下さい。

また、図面連携の機能は現時点で建築工事にのみ対応しており、土木工事における豆図には利用できませんのでご注意ください。



メニューバーの「写真箱(B)」をマウスクリックし、写真箱メニューから「撮影リストの転送(R)」→「現場 DE カメラリスト転送(G)」と選択します。



任意のフォルダに撮影リストを保存します。

このとき、配筋断面図が関連付けられている場合は「現場 DE カメラ LITE / 現場 DE カメラ PRO」での表示用に図面ファイルも出力されます。

「現場 DE カメラ LITE / 現場 DE カメラ PRO」では1つのフォルダを1つの現場の撮影リストとして扱いますので、「現場名のフォルダ」を作成し、その中に撮影リストを保存してください。

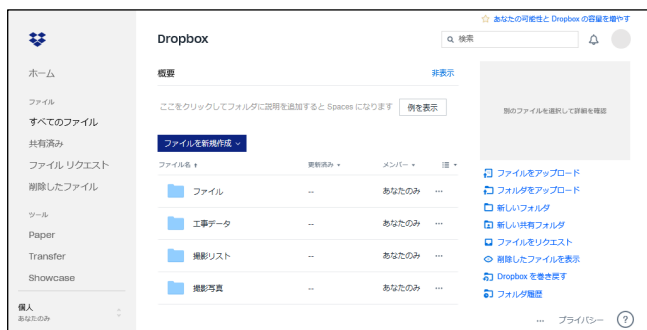
これで撮影リストの作成は完了です。

5.3. 撮影リストの転送

撮影リストを「現場 DE カメラ LITE / 現場 DE カメラ PRO」で使えるようにストレージへ転送します。

5.3.1. オンラインストレージ(Dropbox / Box / RICOH Drive)への転送

オンラインストレージに撮影リストを転送する場合は、Web ブラウザからそれぞれのストレージサービスにログインし、撮影リストや断面図画像ファイルを「フォルダ単位」でアップロードしてください。



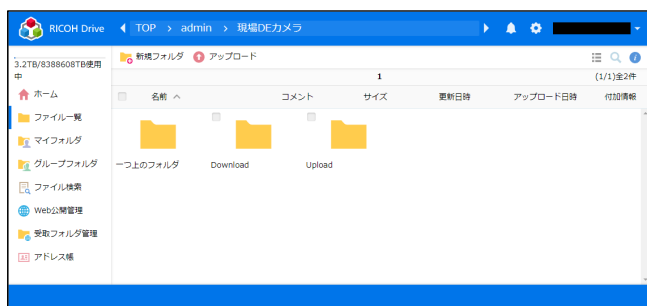
Dropbox の画面です。

必要な撮影リストと図面画像を任意のフォルダにアップロードしてください。



Box の画面です。

必要な撮影リストと図面画像を任意のフォルダにアップロードしてください。



RICOH Drive の画面です。

必要な撮影リストと図面画像を任意のフォルダにアップロードしてください。

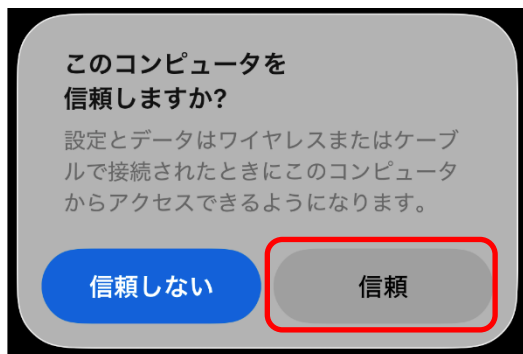
※オンラインストレージにフォルダが作成されていない場合は「現場 DE カメラ LITE / 現場 DE カメラ PRO」から撮影リストを取得できません。

※オンラインストレージサービスで同期ツールが利用可能な場合、ブラウザを使用せずに任意のフォルダを自動同期させても利用可能です。

5.3.2. iTunes を用いた本体ストレージへの転送

iPhone、iPod touch、iPad の本体ストレージに撮影リストを転送する場合は iTunes を使用します。

「現場 DE カメラ LITE / 現場 DE カメラ PRO」がインストールされた iOS 端末を PC に USB 接続してください。



iOS 端末に「このコンピュータを信頼しますか?」と表示されるので「信頼」をタップします。



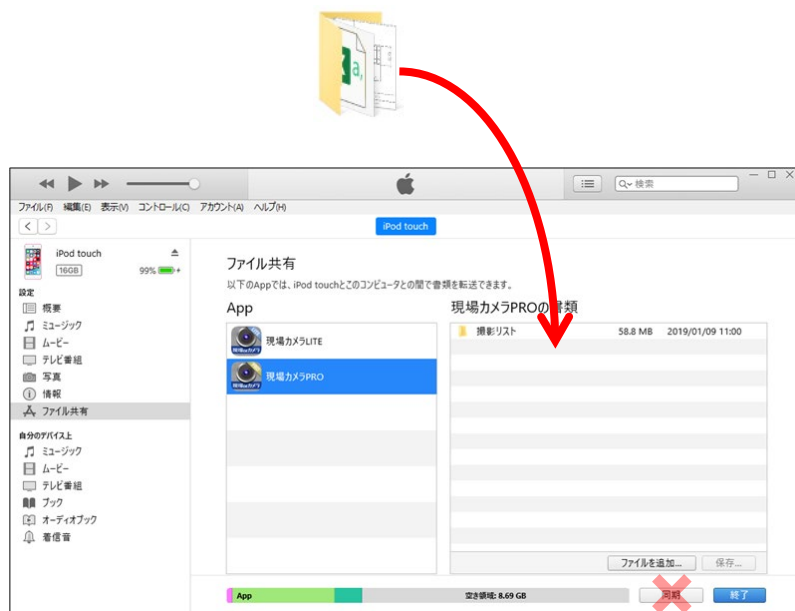
iTunes 上では赤枠でマークされている箇所にデバイスアイコンが表示されますので、表示されたアイコンをクリックします。



左側のペインから「ファイル共有」を選択すると、右側にアプリの詳細が読み込まれます。

「App」一覧より「現場カメラ LITE」または「現場カメラ PRO」を選択します。

選択後は「書類」欄が有効になります。



「書類」欄に撮影リストを含むフォルダをドラッグアンドドロップしてください。

フォルダが登録された時点で本体ストレージへの撮影リスト転送は完了です。

「同期」ボタンを押す必要はありません。

5.3.3. Wi-Fi を用いた本体ストレージへの転送

iOS 端末の本体ストレージに Wi-Fi を利用し撮影リストを転送します。

※本機能は「現場 DE カメラ PRO」のみの機能です。



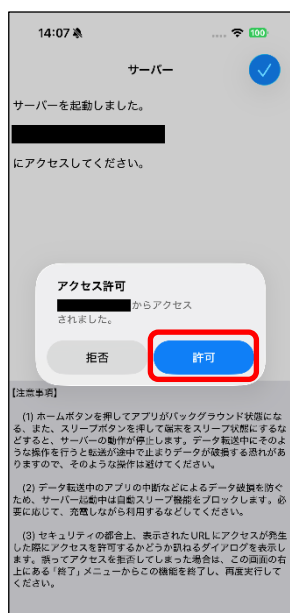
「全体設定」に入り、「Wi-Fi 転送」スイッチを ON にして、「サーバーを起動する」をタップします。

サーバーへの接続アドレスが表示されます。

現場DEカメラPRO

にアクセス許可を求めています。端末側で許可してください。
誤ってアクセスを拒否してしまった場合は一度サーバーモードを終了し、再度サーバーモードを起動してから再アクセスしてください。

パソコン側でブラウザを起動し、iOS 端末側のサーバー画面に表示されている接続アドレス(http://~)を入力してアクセスします。



iOS 端末側にアクセス許可の確認メッセージが表示されますので「許可」をタップします。

現場DEカメラPRO

現在 現場DEカメラPRO にアクセスしています。

ファイル一覧

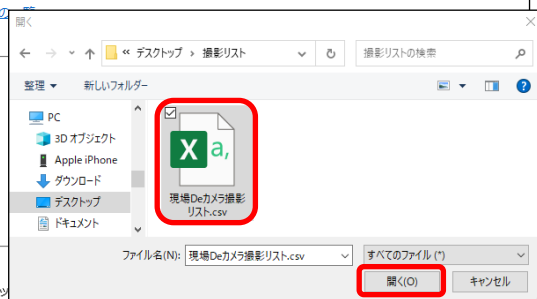
- アップロードした撮影リスト関連ファイルの
- 撮影した画像の一覧

ファイルアップロード

ファイルアップロード機能のインターフェース。ファイルを選択するための「参照...」ボタンが赤い枠で囲まれている。

アップロード規則

- この機能を用いて撮影リストと断面図のアップロードを行う。
- ファイル選択ボタンからアップロードするファイルを選択し「アップロード」ボタンを左クリックすることで、端末内に撮影リストがアップロードされます。
- 現在ご利用中のインターネットブラウザが対応している場合、ファイル選択ダイアログで複数ファイルを選択することが可能です。
- 現在ご利用中のインターネットブラウザが対応している場合、ドラッグ&ドロップによる複数ファイルのアップロードが可能です。



パソコン側でサーバーへのアクセス画面が表示されます。

「参照」をクリックし、アップロードしたい撮影リストを選択後、「開く」をクリックします。

※フォルダはアップロードできません。
撮影リストや図面が複数ある場合はファイルのみを全て選択してアップロードしてください。

現場DEカメラPRO
現在 [REDACTED] にアクセスしています。

ファイル一覧

- アップロードした撮影リスト関連ファイルの一覧
- 撮影した画像の一覧

ファイルアップロード

ファイル	削除
C:\ [REDACTED] 参照...	削除
[REDACTED] 参照...	削除
アップロード	

アップロード規則

- この機能を用いて撮影リストと断面図のアップロードが可能です。
- ファイル選択ボタンからアップロードするファイルを選択し「アップロード」ボタンを左クリックすることで、端末内に撮影リストがアップロードされます。
- 現在ご利用中のインターネットブラウザが対応している場合、ファイル選択ダイアログで複数ファイルを選択することが可能です。
- 現在ご利用中のインターネットブラウザが対応している場合、ドラッグ&ドロップによる複数ファイルのアップロードが可能です。

「アップロード」をクリックすると iOS 端末に該当ファイルがアップロードされます。

※ブラウザ画面にアップロード規則が記載されておりますので、ご確認の上操作してください。


13:57 100%

サーバー

サーバーを起動しました。

[REDACTED]

にアクセスしてください。



【注意事項】

(1) ホームボタンを押してアプリがバックグラウンド状態になる、また、スリープボタンを押して端末をスリープ状態にするなどすると、サーバーの動作が停止します。データ転送中にそのような操作を行うと転送が途中で止まりデータが破損する恐れがありますので、そのような操作は避けてください。

(2) データ転送中のアプリの中断などによるデータ破損を防ぐため、サーバー起動中は自動スリープ機能をブロックします。必要に応じて、充電しながら利用するなどしてください。

(3) セキュリティの都合上、表示されたURLにアクセスが発生した際にアクセスを許可するかどうか問われるダイアログが表示されます。誤ってアクセスを許可してしまった場合は、この画面の右上にある「終了」メニューからこの機能を終了し、再度実行してください。

撮影リストのアップロードが終わりましたら、Wi-Fi 転送のサーバーを終了します。

チェックマークをタップすれば終了です。

5.4. 撮影リストの読み込みと撮影

5.4.1. リスト読込

以下の手順にて撮影リストを読み込みます。



「リスト読込撮影」をタップします。



データの読み込みが行われます。

撮影箇所や図面が多いと時間が掛かることがありますのでお待ちください。



設定済みストレージに保存された撮影リストが表示されます。

5.4.2. 撮影リストの階層と表示



「現場編集長 CALSMaster」や「PHOTOMASTER Plus」の写真管理ツールで作成した写真箱階層どおりに撮影箇所が表示されます。

基本操作としては「リストで表示された箇所の写真を撮影していく」という現場作業になります。




撮影箇所を変更する場合は該当の階層項目をタップし、表示される選択画面の中から選択します。

5.4.3. 撮影リストの操作

撮影リスト上では「写真撮影」「図面確認」「写真情報入力」を行えます。





17:29 撮影リスト一覧 現場 Deカメラ撮影...

工事名称

(仮称)〇〇ビル新築工事

撮影回数 0

撮影回数 1

撮影回数 0

建物名称

〇〇ビル

撮影回数 0

撮影回数 1

撮影回数 7

工事種目

鉄筋工事

撮影回数 0

撮影回数 1

撮影回数 0

施工内容

配筋作業

撮影回数 0

撮影回数 1

撮影回数 5

施工層/工区

1F/1F

撮影回数 0

撮影回数 1

撮影回数 4

施工部位

柱

撮影回数 0

撮影回数 1

撮影回数 3




符号/位置

CB1

撮影回数 1

撮影回数 1

撮影回数 1



① カメラボタンを押すと写真撮影画面に移行します。

黒板には自動的にリストの情報が記載されます。

撮影済みの箇所はリスト上で水色にハイライトされます。

17:30 図面 (DRA00001.png)



② 図面が使用されている場合は図面確認ボタンが表示されます。

押すと撮影箇所の図面を確認できます。

	<p>③ 黒板に記載される写真情報を確認できます。</p> <p>また、「現場 DE カメラ PRO」では黒板への図面の表示/非表示を設定できます。</p>
---	--

5.4.4. 実際の撮影について

撮影リストを確認しながら必要な符号の箇所を撮影していきます。

水色にハイライトされていない箇所が「未撮影」となるため、撮影漏れのおそれはありません。

また、撮影済み写真を PC に転送した後、端末上の写真を削除しても、水色のハイライトや撮影回数はそのまま残りますので、撮影期間が長い場合など撮影写真を部分的に転送しても「既に撮影が済んでいる写真」の判別を行えます。

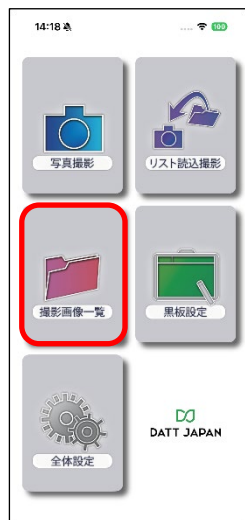
6. 写真の取り込み・振り分け

撮影した画像を PC で利用する手順について説明します。

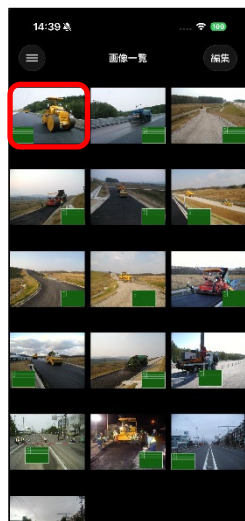
6.1. 画像のアップロード

オンラインストレージ(Dropbox / Box / RICOH Drive)へのアップロード手順です。

※以下の画像は「現場 DE カメラ LITE」のものですが、「現場 DE カメラ PRO」でも操作は同様です。



「撮影画像一覧」をタップします。



アップロードしたい画像をタップしてプレビュー表示します。



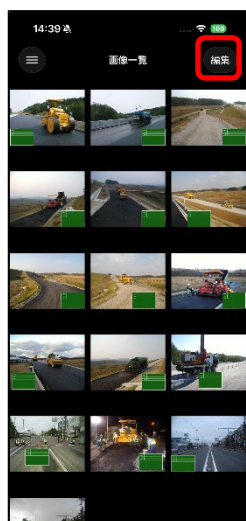
画面右上のアクションボタンをタップし、表示されたメニューから「アップロード」を選択するとアップロードされます。

※「アップロード」が選択できない場合は、全体設定画面でオンラインストレージの設定を確認してください。

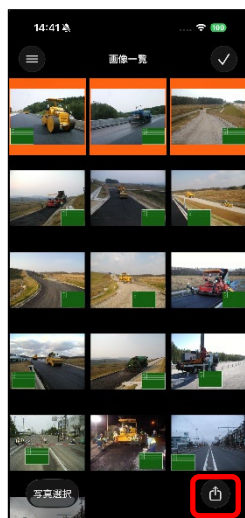
詳しくは「[4. 外部ストレージ設定](#)」をご覧ください。



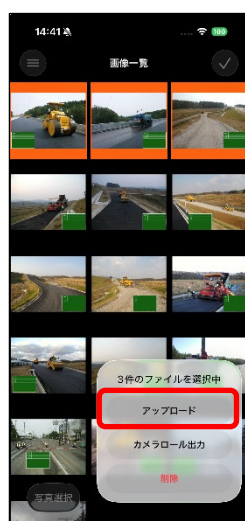
複数ファイルのアップロードも可能です。



「撮影画像一覧」で右上の「編集」をタップします。



アップロードしたい複数の画像をタップして画面下部のアクションボタンをタップします。



表示されたメニューから「アップロード」を選択します。

※「アップロード」が選択できない場合は、全体設定画面でオンラインストレージの設定を確認してください。
詳しくは「[4. 外部ストレージ設定](#)」をご覧ください。



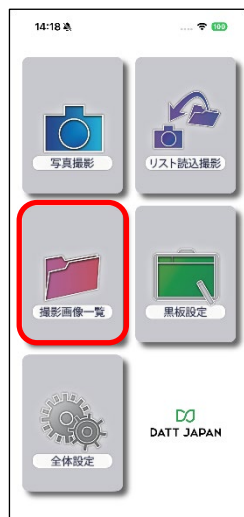
アップロードした写真はチェックマークが付きます。

アップロード後は PC からオンラインストレージにアクセスし、デスクトップやドキュメントなどの任意のローカルフォルダへ画像をダウンロード・保存してください。

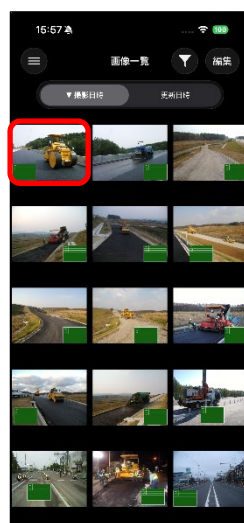
6.2. 画像のメール送信

メール送信手順です。

※本機能は「現場 DE カメラ PRO」のみの機能です。



「撮影画像一覧」をタップします。



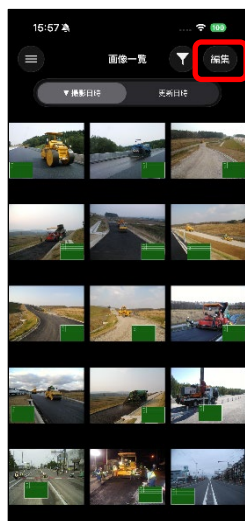
メール送信したい画像をタップしてプレビュー表示します。



画面右上のアクションボタンをタップし、表示されたメニューから「メール送信」を選択すると画像添付された新規メッセージ画面が表示されますので、送信先を設定し送信します。



複数ファイルのメール送信も可能です。



「撮影画像一覧」で右上の「編集」をタップします。



メール送信したい複数の画像をタップして画面下部のアクションボタンをタップします。



表示されたメニューから「メール送信」を選択すると複数画像添付された新規メッセージが表示されますので送信先を設定し送信します。

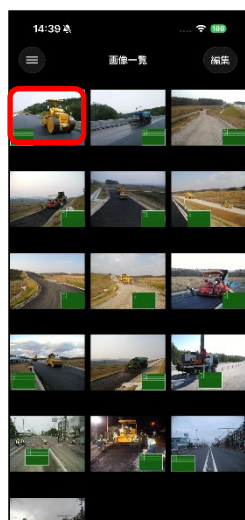
6.3. 画像のカメラロール出力

カメラロール出力手順です。

※以下の画像は「現場 DE カメラ LITE」のものですが、「現場 DE カメラ PRO」でも操作は同様です。



「撮影画像一覧」をタップします。



カメラロール出力したい画像をタップしてプレビュー表示します。

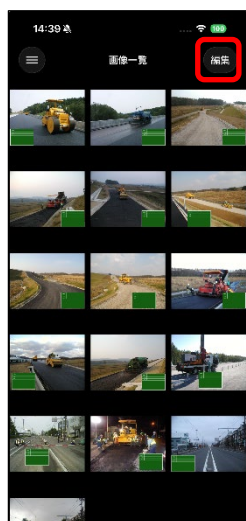


画面右上のアクションボタンをタップし、表示されたメニューから「カメラロール出力」を選択します。

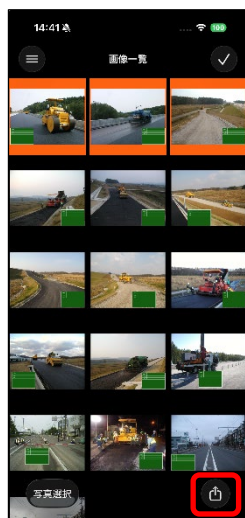


画面右上のアクションボタンをタップし、表示されたメニューから「カメラロール出力」を選択します。

複数ファイルのカメラロール出力も可能です。



「撮影画像一覧」で右上の「編集」をタップします。



カメラロール出力したい複数の画像をタップして画面下部のアクションボタンをタップします。



表示されたメニューから「カメラロール出力」を選択します。

カメラロールに出力した画像は PC と USB 接続し、エクスプローラー等から取り出します。

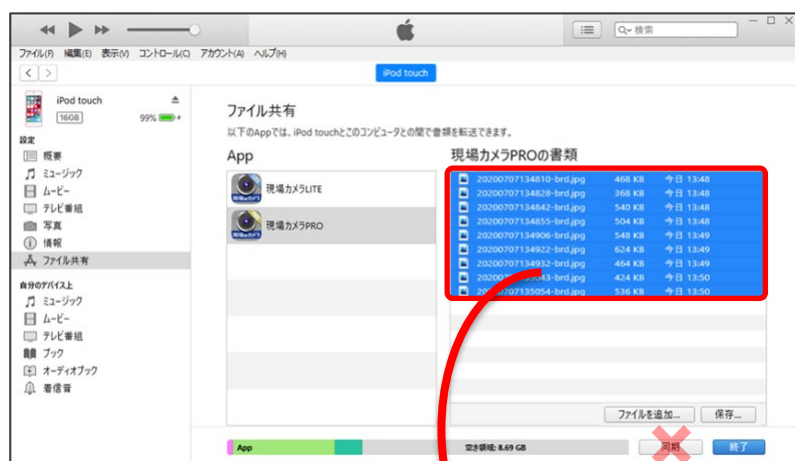
※「6.4. USB 接続による画像の転送」ではカメラロール内の画像は取り出せません。

6.4. USB 接続による画像の転送



iTunes から接続された iOS デバイスを開き、左側のペインから「ファイル共有」を選択します。

「App」一覧より「現場カメラ LITE」または「現場カメラ PRO」を選択します。



「書類」欄に撮影画像が表示されますので、デスクトップやドキュメントなど、任意のローカルフォルダへ画像ファイルをドラッグアンドドロップすると PC 内へ画像がコピーされます。

「同期」ボタンを押す必要はありません。

6.5. Wi-Fi 接続による画像の転送

Wi-Fi を利用し、撮影した写真を PC に転送します。

※本機能は「現場 DE カメラ PRO」のみの機能です。



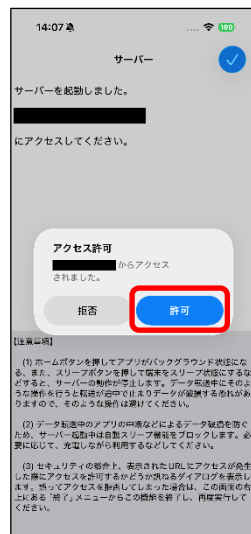
「全体設定」に入り、「Wi-Fi 転送」スイッチを ON にして、「サーバーを起動する」をタップします。

サーバーへの接続アドレスが表示されます。

現場DEカメラPRO

にアクセス許可を求めています。端末側で許可してください。
誤ってアクセスを拒否してしまった場合は一度サーバーモードを終了し、再度サーバーモードを起動してから再アクセスしてください。

パソコン側でブラウザを起動し、表示された接続アドレスを入力してアクセスします。



iOS 端末側にアクセス許可の確認メッセージが表示されますので「許可」をタップします。



パソコン側でサーバーへのアクセス画面が表示されます。

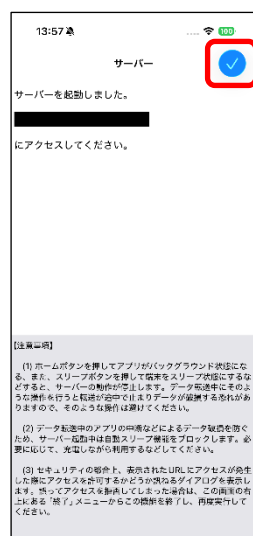
「撮影した画像の一覧」をクリックします。



iOS 端末に保存された撮影写真の一覧が表示されます。

ダウンロードしたい写真を右クリックし、メニューから「対象をファイルに保存」(*)をクリックして保存先とファイル名を設定して「保存」ボタンをクリックしてください。

※使用する Web ブラウザによってメニューの内容は異なります。



写真の取り込みが終わりましたら、Wi-Fi 転送のサーバーを終了します。

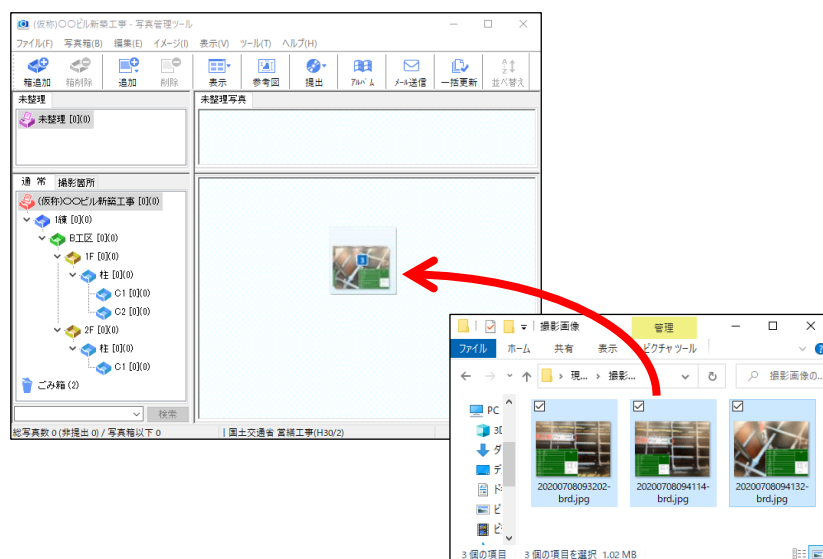
チェックマークをタップすれば終了です。

6.6. 撮影画像の振り分け

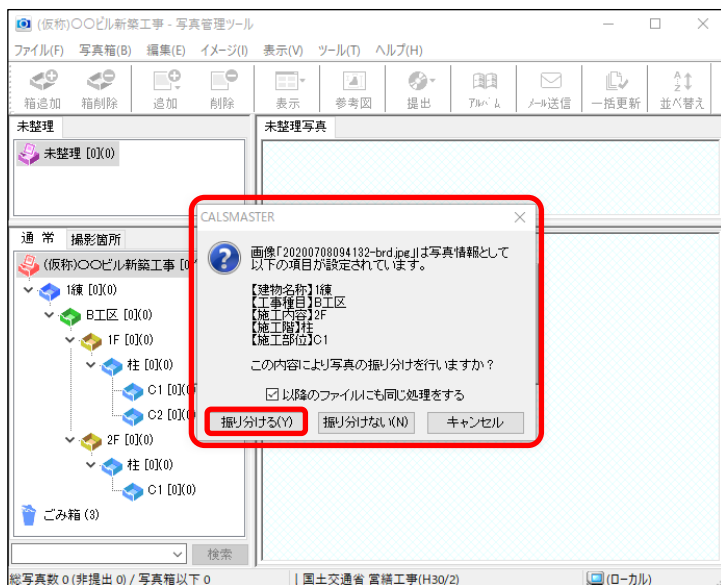
ここでは「現場編集長 CALSMASTER」や「PHOTOMASTER Plus」を利用した写真振り分けについて説明します。

※自動振り分けが可能なのは撮影リストを用いて撮影した写真のみです。

詳しくは「[5. 撮影リストを用いた撮影](#)」をご覧ください。



撮影画像が保存されたフォルダを開き、写真管理ツールのサムネイル表示欄にドラッグアンドドロップで登録します。

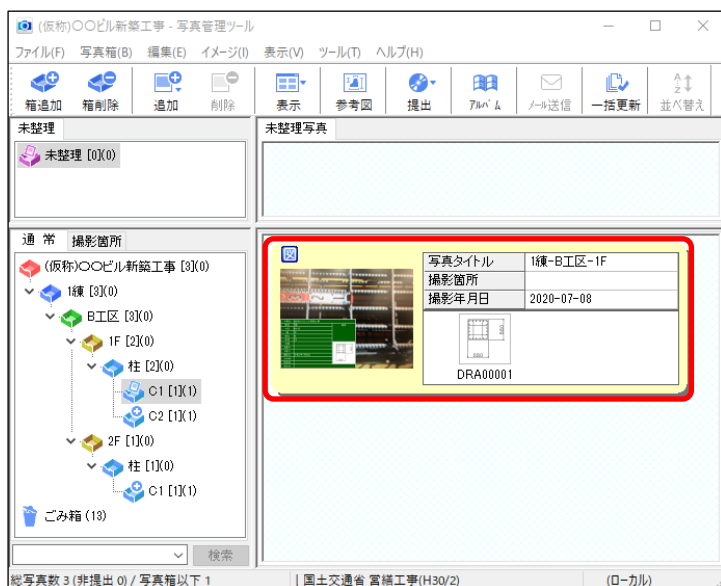


写真に含まれる振り分け情報を判別し、振り分け確認のダイアログボックスが表示されます。

「振り分ける(Y)」ボタンを押すと、所定の写真箱へ写真が送られます。

複数の写真を一括して登録する場合は「以降のファイルにも同じ処理をする」にチェックを入れてから「振り分ける(Y)」ボタンを押すことで、それぞれの写真箱へ一括登録できます。

取り込み後は所定の写真箱へ写真が取り込まれており、図面ファイルを扱っている場合は写真と図面の紐付けが正しく行われています。



この要領で新たに撮影した写真を次々と取り込んでいくことで、大量の写真を短時間で整理できます。

【振り分けのキャンセルについて】

振り分け情報に誤りがあり、自動振り分け機能を使いたくない場合は振り分け時に「振り分けしない」を選択するか、写真管理ツールの「オプション設定」から振り分け動作そのものを無効化します。

7. 改ざん検知情報について

「現場 DE カメラ PRO」は黒板付き写真の撮影時に写真データへ「写真の加工・改ざんをしていない」ことを示す改ざん検知情報を付与することができます。

※ 電子黒板を利用した写真の電子納品が認められない場合がございます。ご利用の際は別途発注者と協議の上ご確認ください。

7.1. 機能の有効化



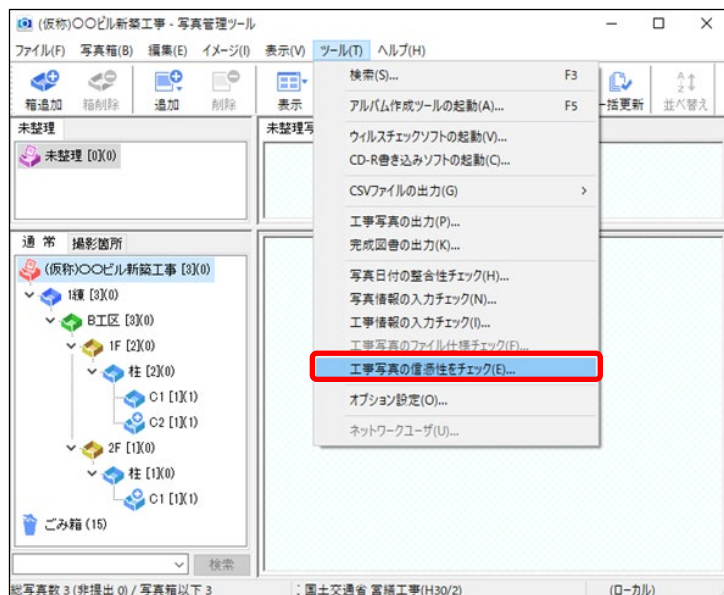
「トップメニュー」から「全体設定」に入り、「画像改ざん検知情報付与」をオンにします。

この設定が無効のときは画像改ざん検知情報が付与されません。

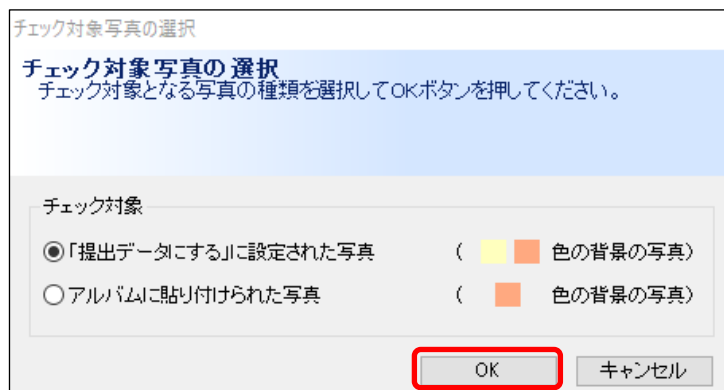
※本機能は「現場 DE カメラ PRO」のみの機能です。

7.2. 画像の改ざんチェック

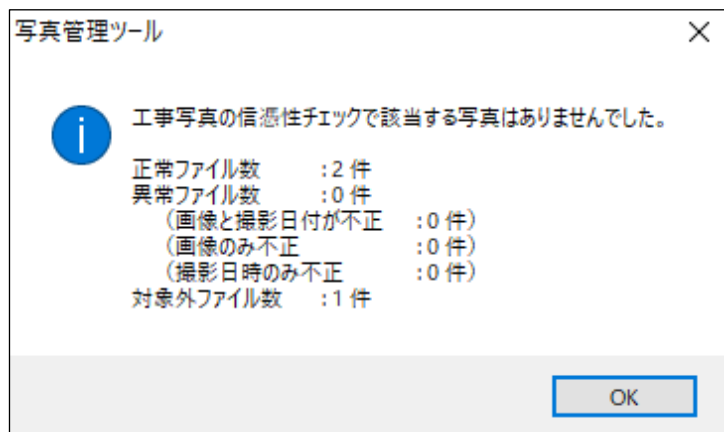
画像改ざん検知情報が付与された写真を「現場編集長 CALSMaster」や「PHOTOMASTER Plus」へ取り込むと、写真の改ざん有無に関する信憑性チェックを行えます。



「ツール(T)」→「工事写真の信憑性をチェック(E)」を選択します。



写真をチェックする対象の範囲を選び、「OK」ボタンを押します。



チェック結果が表示されます。

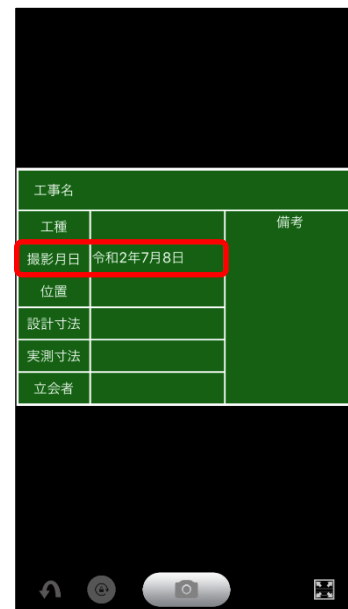
※このチェックでは改ざん検知情報を含む写真を「正常ファイル」、改ざんの痕跡があるものを「異常ファイル」としてカウントします。

改ざん検知情報を含まない写真は対象外ファイルにカウントされ、改ざんの有無についてはチェックが行われません。

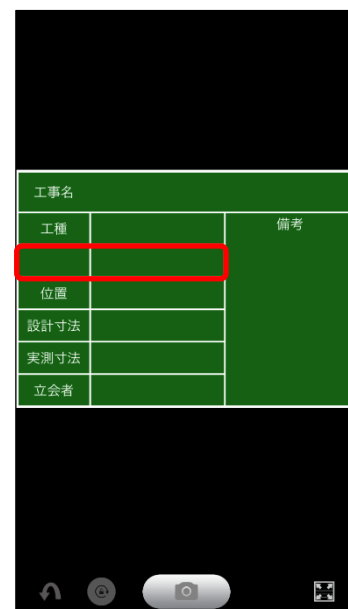
8. 黒板の日付表示について

「現場 DE カメラ PRO」は黒板の日付の表示、非表示を切り替えることが出来ます。

8.1. 日付表示



8.2. 日付非表示



9. 写真への簡易描画機能について

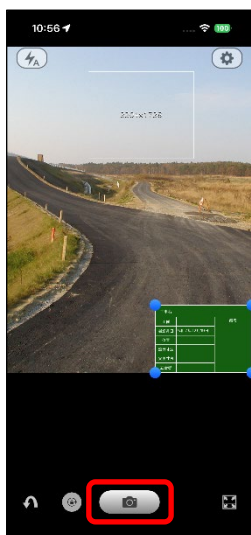
「現場 DE カメラ PRO」は撮影済み写真に対し簡易描画することができます。

描画編集した写真を保存する場合、元写真を上書きするのではなく、新たな画像として保存します。

また、描画編集後の写真には、改ざん検知情報を付与することはできません。

※本機能は「現場 DE カメラ PRO」のみの機能です。

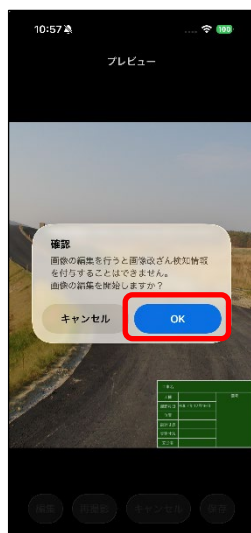
9.1. プレビュー画面での編集



「写真撮影」または「リスト読込撮影」をタップし、カメラを起動します。

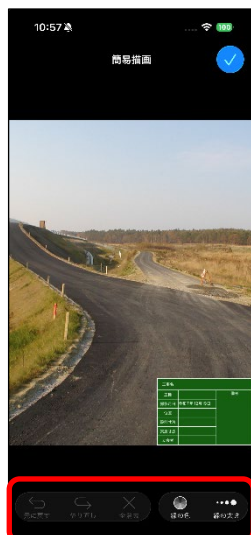


写真を撮影するとプレビュー画面が表示されますので、画面左下の「編集」をタップします。

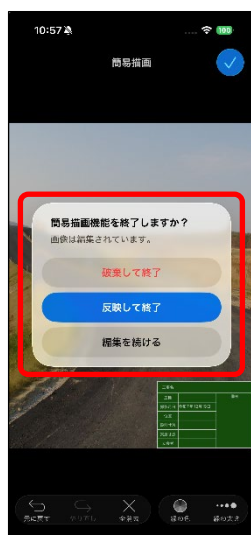


確認メッセージが表示されますので「OK」をタップします。

写真の編集は改ざんにあたりますので、信憑性情報が消えても問題がない場合のみ先に進んでください。



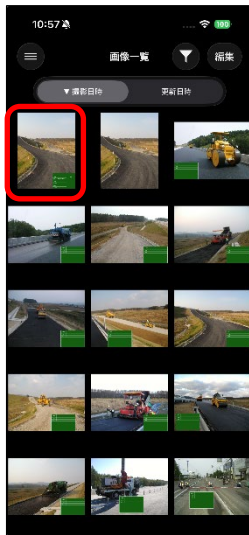
簡易描画面になりますので、画面下部の「線の色」、「線の太さ」などを設定の上、画面上に描画します。



画面右上のチェックマーク（完了）をタップすると終了メッセージが表示されますので、適切な選択肢をタップします。

「破棄して終了」「反映して終了」のいずれかをタップすると簡易描画機能を終了します。

9.2. 画像閲覧画面での編集



「撮影画像一覧」をタップし、撮影済み画像を表示します。

画像一覧から簡易描画したい画像をタップします。

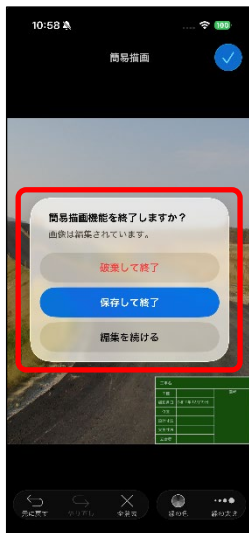


画面上部の「編集」ボタンをクリックすると確認メッセージが表示されますので「OK」をタップします。

写真の編集は改ざんにあたりますので、信憑性情報が消えても問題がない場合のみ先に進んでください。



簡易描画面になりますので、画面下部の「線の色」、「線の太さ」などを設定の上、画面上に描画します。



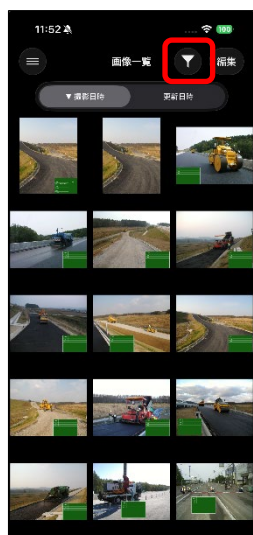
画面右上のチェックマーク（完了）をタップすると終了メッセージが表示されますので、適切な選択肢をタップします。

「破棄して終了」「反映して終了」のいずれかをタップすると簡易描画機能を終了します。

10. 撮影画像一覧の絞り込み・並べ替え

※本機能は「現場 DE カメラ PRO」のみの機能です。

10.1. 撮影画像一覧の絞り込み



「撮影画像一覧」をタップし、撮影済み画像を表示します。

画面上部の絞り込みボタンをタップします。



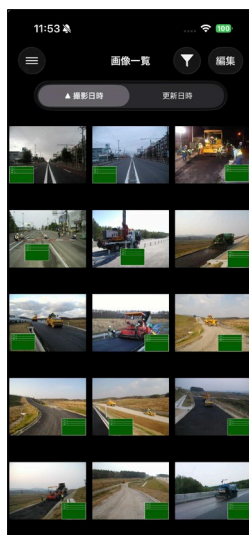
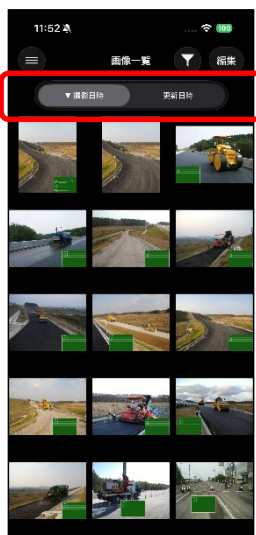
絞り込み条件を設定し、画面右上のチェックマークをタップします。



絞り込み条件に合致した画像のみ表示されます。

No.	名称	説明	
①	黒板の有無	全ての写真 (既定値)	黒板付き画像、オリジナル画像を表示します。
		黒板あり	黒板付き画像のみを表示します。
		黒板なし	オリジナル画像のみを表示します。
②	描画の有無	全ての写真 (既定値)	描画済画像、描画なし画像を表示します。
		描画あり	描画済画像のみを表示します。
		描画なし	描画なし画像のみを表示します。
③	アップロード	指定なし (既定値)	オンラインストレージにアップロード済の画像、オンラインストレージに未アップロードの画像を表示します。
		アップロード済	オンラインストレージにアップロード済の画像のみを表示します。
		未アップロード	オンラインストレージに未アップロードの画像のみを表示します。
④	撮影日付指定	スイッチをオンにすると、「下限」と「上限」に設定された日付の範囲内に撮影された画像のみを表示します。規定値はオフになっています。	
⑤	絞り込み解除	絞り込み条件を既定値に戻し、絞り込みを解除します。	

10.2. 撮影画像一覧の並び替え



「撮影画像一覧」をタップし、撮影済み画像を表示します。

画面上部の並び替えコントロールをタップし、画像の並び順を変更します。

名称	説明
▲ 撮影日時	撮影日時の昇順で並び替えます。
▼ 撮影日時	撮影日時の降順で並び替えます。
▲ 更新日時	更新日時の昇順で並び替えます。
▼ 更新日時	更新日時の降順で並び替えます。

11. トラブルシューティング

11.1. ファイル共有設定の初期化

バージョン 4.7.6 より、オンラインストレージの認証情報、撮影リストのダウンロードフォルダ、写真のアップロードフォルダの設定を一括で削除する機能を追加しています。

オンラインストレージの操作でトラブルが発生し、各種操作が不可能となった際にこの機能で改善する可能性があります。

11.1.1. 操作手順



本アプリを完全に終了します。

完全に終了する方法は iOS 端末の種類ごとに異なるため、詳しい手順は下記 Apple 公式サポートページをご確認ください。

iPhone や iPod touch でアプリを終了する方法

<https://support.apple.com/ja-jp/HT201330>

iPad でアプリを終了して再度開く

<https://support.apple.com/ja-jp/HT212063>

設定アプリを開き、下のほうにある「アプリ」を開きます。





「現場カメラ LITE」または「現場カメラ PRO」を開きます。



「ファイル共有設定の初期化」右側のスイッチをオン（緑色の状態）に変更します。

その後、本アプリを起動すると、各種オンラインストレージの認証が解除された状態となり、ダウンロードフォルダとアップロードフォルダが未設定の状態に戻ります。

※設定が初期化された後、このスイッチは自動でオフに戻ります。

現場 DE カメラ LITE / 現場 DE カメラ PRO 操作マニュアル

発行	2026 年 1 月
発行者	ダットジャパン株式会社
所在地	〒060-0063 北海道札幌市中央区南 3 条西 5 丁目 1-1 ノルベサ 5F

※本書の一部または全部の無断転載は紙・Web 等の媒体を問わず一切を堅くお断りします。